

支え合って 生きる

SUPPORT

公務員宿舎の廃止などで子育て中の世帯が減少していき中、早稲田学区でも高齢化率は上昇しており、東区全体の数値に近づいてきています。

「高齢化」という言葉は、ともすればマイナスなイメージで使われることがありますが、地域活動が盛んな早稲田学区では、高齢な方々同士、あ

るいは高齢な方と地域での共同活動をより活発化させることで、お互いが支え合い、いつまでも元気で楽しく暮らせるまちづくりを目指します。

また、障がい者の方も暮らしやすくなるよう、地域の理解を深め、交流の場や支援体制を整えながら、みんなに優しいまちづくりを目指します。

平成23～27年度の活動実績

◆魅力ある老人クラブづくりと会員の増員（平成23～27年度）

各老人クラブごとに親睦旅行・サークル活動などにより、魅力ある老人クラブづくりに努めました。また会員増員については、平素から口コミに加え社協だより「わせた」に未加入者への呼びかけを掲載しました。

◆高齢者の憩いの場の提供（平成23～27年度）

「よりみち」の他「各町内のサロン」を定期的で開催しました。

◆高齢者などの優先席の確保（平成23～27年度）

学区内の主要行事（町民大運動会・早稲田中学校体育祭・早稲田小学校運動会・盆おどり大会・わせたふれあいまつり）で優先席を確保しました。



よりみち クリスマス会

◆高齢者の健康づくり（平成23～27年度）

- (1) 「わせた元気体操」の普及促進・・・「よりみち」等で実施しました。
- (2) 体力測定会、健康講演会の開催・・・それぞれ年1回開催しました。
- (3) 子ども達の夏季休暇ラジオ体操と一緒に参加しました。



体力測定

◆緊急時の連絡システムの確認・整備

- (1) 「あんしん電話」などの公的システムや民間で行っているシステムの情報を提供しました。（平成23～27年度）
- (2) 救急医療情報キットの情報を提供し、普及をすすめました。（平成26～27年度）



P16参照★



◆高齢者の生きがいづくり（平成23～27年度）

- (1) 伝承遊びなど地域行事に参加して、子どもたちとの交流を行いました。
- (2) 早稲田小学校のガードボランティアを担い、子どもたちの見守り活動を行いました。

まちづくりにおける課題



①老人クラブ会員の減少

年金給付開始年齢が65歳に引き上げられたことにより就労期間が長くなり老人クラブへの加入呼びかけが困難です。魅力ある老人クラブづくりには新入会員によって新風を吹き込むことも必要です。



伝承遊び

②老人クラブ役員の固定化排除と学区内の連携強化

老人クラブの役員が固定化し、新たな役員の就任などが進まず、会の運営にも支障をきたしつつあります。また、学区内の活動を充実させるためには、老人クラブ連合会の機能と各町内老人クラブの連携を強化する必要があります。



車いす体験

③高齢者の地域行事への参加者数の伸び悩み

高齢者の生きがいづくりとして地域行事への参加を呼びかけていますが、参加者数が伸び悩んでいます。

④障がい者との共生

障がい者も参加する講習会や相談会が少ないので、今後学区在住の障がい者の意見を聞く機会を増やし、共に生きる地域社会を目指す必要があります。



知って7情報 3 ふれあいいきいきサロンへおいでください



「びびよサロン」
(東2丁目上)
2月・8月の第4月曜日
11:30～13:30
食事付き
早稲田集会所

「サロン・早稲田3丁目」
(早稲田3丁目)
2月・8月
10:30～13:30
食事付き
早稲田集会所

「4丁目の美」
(早稲田4丁目)
3月・9月
11:30～13:30
食事付き
ライオンズマンション集会所

「であいサロン」
(早稲田2丁目上)
毎月第3木曜日
13:30～16:30
早稲田2丁目上集会所

「いきいきサロンよりみち」
(早稲田2丁目上)
2月・8月の第1金曜日
11:00～13:30
食事付き
早稲田2丁目上集会所

まちづくりにおける長いスパンの目標

① 高齢者が生きがいを持ち安心して暮らせるまちづくり

医療・介護施設の誘致とともに、困ったときにいつでも相談できる場所づくりに取り組みます。

② 健康づくり公園の設置

広い場所を確保して「健康づくり公園」を整備できれば、万が一、大規模災害の時には仮設住宅用地として使用することが可能になります。

③ 地域包括ケアシステムへの取り組み

2025年には、「団塊の世代」全てが75歳以上となり、介護・医療分野の資源不足が深刻になることから広島市においては、住み慣れた地域で自分らしい暮らしが出来るように、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステムの構築」が推進されています。

早稲田学区としても地域（社協）と「地域包括ケアシステム」との関わり方等について、関係個所との連携・調整を密にしながら「地域包括ケアシステムの構築」に取り組みます。

④ みんなで支え合うまちづくり

高齢者・障がい者・小さな子どもを持つ人も、それぞれが役割を持ち、みんなで支え・支えられるまちづくりを目指します。

知った情報 4

救急医療情報キット



高齢者や障がいのある人などの安心・安全を確保するために、救急医療情報（持病・かかりつけ医・お薬情報などの医療情報や緊急連絡先）を収納ケースに入れて、自宅冷蔵庫で保管していただき、救急時には、救急隊員を介してその情報を医療機関に伝える仕組みです。

※希望者は各町内会会長、民生委員児童委員にお申し込みください。

支え合って生きる

※実施年度
 ● 第二次プランからの継続活動
 ● 第三次プランでの新規の活動

活動内容	プラン実施	実施年度（平成）					ネットワーク
		28	29	30	31	32	
1) みんなに優しい地域づくり							
1 高齢者などの優先席の確保 ・地域の主要行事で実施する（高齢者・障がい者など）	老連 各町内会						シルバー ネット
NEW 2 健康相談日の定期開催 ・保健センター・医師会・薬剤師会などの協力を得て健康相談日を設置	社協ボランティア部 民児協						シルバー ネット
3 「救急医療情報キット」の普及促進 ・全町民へ情報を提供する（P16参照）	社協ボランティア部 各町内会、民児協 老連						シルバー ネット
NEW 4 高齢者と子どもの交流の場づくり ・高齢者と子どもが気軽に一緒に集えるサロンを企画、開催する	老連 各町内会						シルバー 子ども
NEW 5 サロン支援者の拡大 ・退園者の増加に伴いボランティアバンク登録者の増員を図る（P29参照）	老連 社協ボランティア部						シルバー
2) 高齢者の笑顔を増やす							
1 魅力ある老人クラブづくり（会員の増員） ・病除旅行、サークル活動など主要行事を推進する ・各町内老人クラブ同士の情報交換会を開催する	老連 各町内会						シルバー ネット
2 高齢者の憩いの場所の提供 （ふれあいいきいきサロン「よりみち」・町内サロン） ・サロンの内容を充実し、参加者数の増加を図る ・早稲田公民館や早稲田集会所を積極的に利用する（P15、29参照）	老連 各町内会 社協ボランティア部 民児協						シルバー ネット
NEW 3 健康寿命を延ばす ・健康で長生きをするための運動や講習会を開催する ・「認知症講座」を開催する	老連、公衛協、民児協 社協ボランティア部 各町内会						シルバー ネット
4 高齢者の生きがいづくり ・地域行事（伝承遊びなど）子どもとの交流・ガードボランティア）に参加する	老連 各町内会						シルバー ネット
NEW 5 高齢者地域支え合い事業の実施 ・広島市の「高齢者地域支え合いモデル事業」の推進に対応し、これまで実施してきた見守り活動「近隣ミニネットワーク事業（P29参照）」の中の「電話で声かけ」を発展充実させ、包括支援センターと連携した「早稲田見守りサポート事業」の早期実現を目指す	社協事務局 社協ボランティア部 各町内会 民児協						シルバー ネット
3) 障がい者に優しい地域づくり							
NEW 1 障がい者との共生 ・障がい者本人も参加する講習会、ワークショップ、福祉体験会などを開催し、共に生きる地域社会を目指す	社協ボランティア部 民児協 中PTA 小PTA						わが 子ども
NEW 2 障がい者に優しい道路整備 ・視覚障がい者・盲導犬ユーザー、車いすの方たちなどの意見も聞きながら、危険箇所、側溝などの点検・整備を行う	社協事務局 防犯組合 各町内会						わが ネット ハート
NEW 3 障がい者への災害時の支援 ・防災情報を周知する（連絡方法や避難場所など）	各町内会 民児協 自主防						わが 防 災
4 障がい者又はその保護者同士の交流の場づくり ・ハンディキャップのあるお子さんの保護者の集いとして始まった「キャトル セゾン」を継続していく	民児協						わが 町